

乾田直播栽培の乾田期間に発生した オオニワホコリとオオクサキビの除草法

福島県農業総合センター 浜地域研究所
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

水稻 - 水稻 - 雑草防除、水稻直播
分類コード 01-01-20750000

2 担当者

佐々木園子・佐藤淳平

3 要旨

浜通りの乾田直播栽培圃場では、乾田期間中にイネ科一年生畑雑草のオオニワホコリやオオクサキビが発生し問題となっている。そこで既存の除草剤がこれらの雑草防除に効果があるか検討した結果、シハロホップブチル含有剤は、オオニワホコリ、オオクサキビに対して高い除草効果があった。また、処理時期は、ノビエの防除時期(5葉期まで)でよいと考えられた。

- (1) 除草剤はシハロホップブチル・ベンタゾン液剤、ビスピリバックナトリウム塩液剤、シハロホップブチル乳剤を用いた。処理時期はシハロホップブチル・ベンタゾン液剤、ビスピリバックナトリウム塩液剤はノビエ3.0L、ノビエ5.0Lとし、シハロホップブチル乳剤は入水前とした。
- (2) シハロホップブチル・ベンタゾン液剤は、オオニワホコリ、オオクサキビに対して処理時期にかかわらず効果が高かった。
- (3) シハロホップブチル乳剤は、オオニワホコリ、オオクサキビの最大葉齢が5.2Lであったにもかかわらず効果が高かった。
- (4) ビスピリバックナトリウム塩液剤は、オオニワホコリ、オオクサキビの防除効果が劣り、処理時期が遅くなると残草量が多くなった。

4 その他の資料等

なし